

～～第8243回～～

薬師岳・雲ノ平

～H29. 8. 3-6～

(1日目)磐田支部4名参加。前日に有峰林道ゲート前でテン泊し、6:00のゲートオープンを待つ。脱輪車救出で時間取られるが、7:20折立登山口から登山開始。樹林帯を通過して8:56三角点(1870.6m)を通過。ここで一服休憩。多くの登山者で賑やかだ。10:45五光岩ベンチに着く。案内図にはこの辺にニッコウキスゲ群生と書いてあるが、群生ほどでなくガッカリ。周囲が笹原で見晴らしがいい。11:50太郎平小屋(2330m)ここは4本の登山道の分岐点なのでここも多くの登山者で賑わっている。霧が多いが、明日から登る鷲羽岳や黒部五郎岳を望むことが出来る。45分ほど休憩し、水(無料)を補給して出発する。キャンプ場を通過し、14:40薬師岳山荘に着く。山荘はそれほど混んでなくゆっくり休むことが出来た。(2日目)早朝4:00薬師岳山頂でのご来迎をと、空荷で山荘を出発した。富山の街灯りが見える中、標高差200mほどをひたすら登る。次第にガスが出始め4:55山頂はガスの中だ。ご来迎を待つこと20分、諦めて山荘へ戻り朝食をとる。山荘では晴れていて7:10に太郎平へと下る。太郎平は大勢の人と大展望が広がり、明日・明後日登る山々が聳えている。ここから黒部川本流まで400mの大下りだ。木道を過ぎ林の中の急降下を1時間ほどで第1徒渉点に着き、沢の水で一息入れる。第2・第3の吊橋を渡り、カベツケが原の木道を経て薬師沢小屋の裏手へ出た。本流を渡り河原で昼食を食べ12:45今日一番の急登へ取り付く。鼻先に木の根が間えそうな急坂で、大きな岩がゴロゴロし苔むして滑りやすく難渋する(この急坂の下りは避けたい)15:20展望が開けてアラスカ庭園へ着く。木道も出始め高山帯の気持ち良いルートで、雲の平山荘(2550m)へ16:45に着く。まわりは花々が多くまさに雲上の感だ。平日なのに定員の9割の登山者数で女性が半数以上だ。しっかり歩いたので、明日の好天を願い20:00に横になる。(3日目)4:30起床、5:00朝食、6:00雲ノ平山荘発。スイス庭園のあたりは雲ノ平らしい所だ。祖父岳～ワリモ岳～鷲羽岳のルートを選択。祖父岳付近は残雪もあるが、アイゼンなしで問題ない。祖父岳に着くと槍、穂高が初めて姿を見せる。地図には岩苔乗越に水場の印があるが、少し下らないと無いようだ。ワリモ岳はピークを巻いている。百名山の鷲羽岳は大きな山容だ。下りはガレキが多く、滑りやすい。三俣山荘にて昼食。小屋の前に蛇口があり顔も洗えてありがたい。夏の間は診療所も開設されている大きな山小屋だ。黒部源流まで往復70分ほど。三俣蓮華岳はカール経由で行く。三俣山荘でのんびりした為か、黒部五郎小屋着は17:00を過ぎた。黒部五郎小舎は少し空いており、食事も水も美味しかった。(4日目)4:00黒部五郎小舎を出発、登山道は朝早いので暗く、夜降った雨でぬかるんでいる。4:50日の出で明るくなり、カールの雪渓とハイマツのコントラストが素晴らしい。7:00黒部五郎岳(2839.7m)山頂に着く。分岐に戻って朝食弁当を食べる。8:00分岐を出発し、赤木岳(2622m)、北ノ俣(2622m)を通過して14:00太郎平に着く。昼食をとって14:30太郎平から長い下り。

18:00 折立に無事下山し、帰路に着いた。今回はロングコースできつかったが、素晴らしい展望を楽しむことが出来た。

情報：薬師沢出合からの急坂は滑りやすく要注意。

参加者：4名（磐田）

天候：晴れ・霧

地図：薬師岳・三俣蓮華岳・有峰湖

コースタイム：(1日目)折立 720…三角点 856-914…五光岩ベンチ 1045…太郎平 1150-1235…薬師岳山荘 1440(2日目)400…薬師岳 455-515…薬師岳山荘 600-710…太郎平 845-910…第1渡渉点 1005…薬師沢小屋 1200-45…アラスカ庭園 1520…雲の平山荘 1645(3日目)600…祖父岳分岐 700-15…祖父岳山頂 745-802…ワリモ北分岐 920-30…鷲羽岳 1025-55…三俣山荘 1155-1405…カールルートとの合流点 1550-1600…黒部五郎小舎 1715(4日目)400…黒部五郎岳 700…赤木岳 1040…北ノ俣岳 1200…太郎平 1400-30…折立 1800

記録：磐田支部 M. N



鷲羽岳山頂から見た鷲羽池と穂高連峰



鷲羽岳への縦走路



北ノ俣岳付近のワタスゲ